

山陰初

美術の教科書に出てくる画家が勢ぞろい



安井曾太郎「女と犬」(1940年)・油彩

特別展 名品と出会う

― 企業コレクションによる日本近代洋画展 ―

2018年4月7日(土)～6月11日(月)

[開館時間]9時～16時30分(入館は16時まで)

[会期中の休館日]毎週火曜日

[入館料]一般 1000円・団体 800円(20名様以上)

学生 500円(高校生以上)*小・中学生無料

※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその付き添いの方(1名)は無料。

主催：安来市加納美術館、BSS山陰放送 共催：安来市教育委員会

後援：安来市、日本海テレビ、TSK山陰中央テレビ、やすぎどじょっこテレビ、山陰中央新報社、

中国新聞社、新日本海新聞社、朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、

NHK松江放送局(順不同)

特別協力：公益社団法人糖業協会

[同時開催]

加納莞蕾 ～平和を希求した画家～
茶陶逸品展

安来市加納美術館



東郷青児「羊飼」(1935年) 油彩 ©Sompo' Museum of Art, 2018



小磯良平「朝」(1939年) 油彩



和田英作「静物(果物)」(1920年) 油彩



松田文雄「小春日」(1946年) 油彩

安来市加納美術館は、平和を希求した画家加納莞蕾(辰夫)の想いを広く伝えたいと願って多様な展示をしています。

このたびの特別展は、独自の表現を切り拓いた近代洋画家の作品を数多く保有する公益社団法人糖業協会のコレクションを山陰で初めて紹介するものです。展示室には、明治から昭和にかけて独自の表現を求め続けてきた洋画家たちの絵が勢ぞろいします。

加納莞蕾は、独立美術協会を活動の場として第 10 回展から長く出品を続けましたが、今回の展示では彼とともに独立美術協会で活躍した画家の作品も多数出品します。安井曾太郎、小磯良平、東郷青児はじめ美術教科書に出てくる画家の作品を通して、日本の洋画家が見出した美意識に触れていただくとともに、画家たちの絵を描くよろこびを体感して頂きたいと願っています。

[出品作家] 青山義雄、麻生二郎、有馬生馬、石井柏亭、伊藤廉、井上長二郎、猪熊弦 郎、梅原龍二郎、刑部人、笠井誠一、金山平二、川島理一郎、熊谷守一、小磯良平、小糸源太郎、児島善二郎、小林和作、斉藤与里、里見勝蔵、清水登之、鈴木徳徳、須田国太郎、曾宮一念、高島達四郎、鳥海青児、津田正周、東郷青児、中川 政、中川 紀元、中沢弘光、中山巍、野口弥太郎、林武、福沢 郎、藤島武一、牧野虎雄、松田文雄、満谷国四郎、森芳雄、安井曾太郎、山口薫、和田英作(予定)

同時開催
・加納莞蕾 ~平和を希求した画家~
・茶陶逸品展

能義郡布部村(現安来市広瀬町布部)出身の加納莞蕾は、若い頃に独立美術で活躍しましたが、戦争を体験したことで、戦後は多くの人に世界の恒久平和を訴え続けました。その活動を紹介します。

美術館創設者加納溥基が蒐集した作品の中からよりすぐりの茶陶を展示します。

- 期間中のイベント
- ギャラリートーク
4月7日(土)・4月29日(日・祝)・6月10日(日)
いずれも13時30分より
 - 鑑賞ワークショップ みるみると見てみる?
4月22日(日) 13時30分~15時
5月27日(日) 13時30分~15時
[講師]みるみるの会メンバー
 - 安来でヨシタケコーヒーを楽しむ会
5月3日(木・祝) 11時~15時(随時)
 - ワークショップ みるつくるあそぶ
5月4日(金) 13時~16時(随時受付)
[講師]松田淳氏(美術家)
 - 講演会「日本近代洋画と加納莞蕾」
6月3日(日) 13時30分~15時
[講師]千葉潮氏(図書出版メディアアイランド)

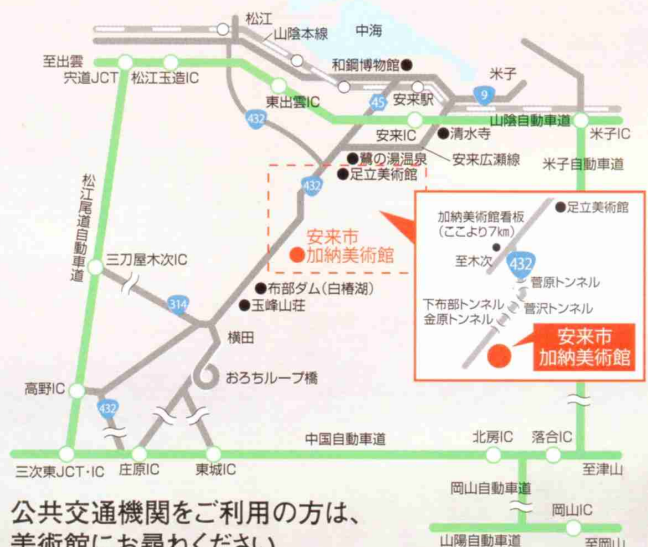
※詳細はHPまたは美術館にお問い合わせください。

名碗を愉しむ会 4月8日(日)・5月13日(日)

①午前10時~ ②午後2時~
学芸員の案内で作品をご覧になったあと、茶室「如水庵」で名碗にふれ、季節のお菓子、お茶を愉しんでいただけます。
〈参加費〉2,500円〈定員〉各15名
※参加を希望される方は3日前までに申し込みにください。



茶室「如水庵」



公共交通機関をご利用の方は、美術館にお尋ねください



KANO MUSEUM OF ART
安来市加納美術館

〒692-0623 島根県安来市広瀬町布部345-27 ☎0854-36-0880

<http://www.art-kano.jp/>

レストランやまさやを併設しています。(火曜日定休)